

平成31(令和元)年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 国語】

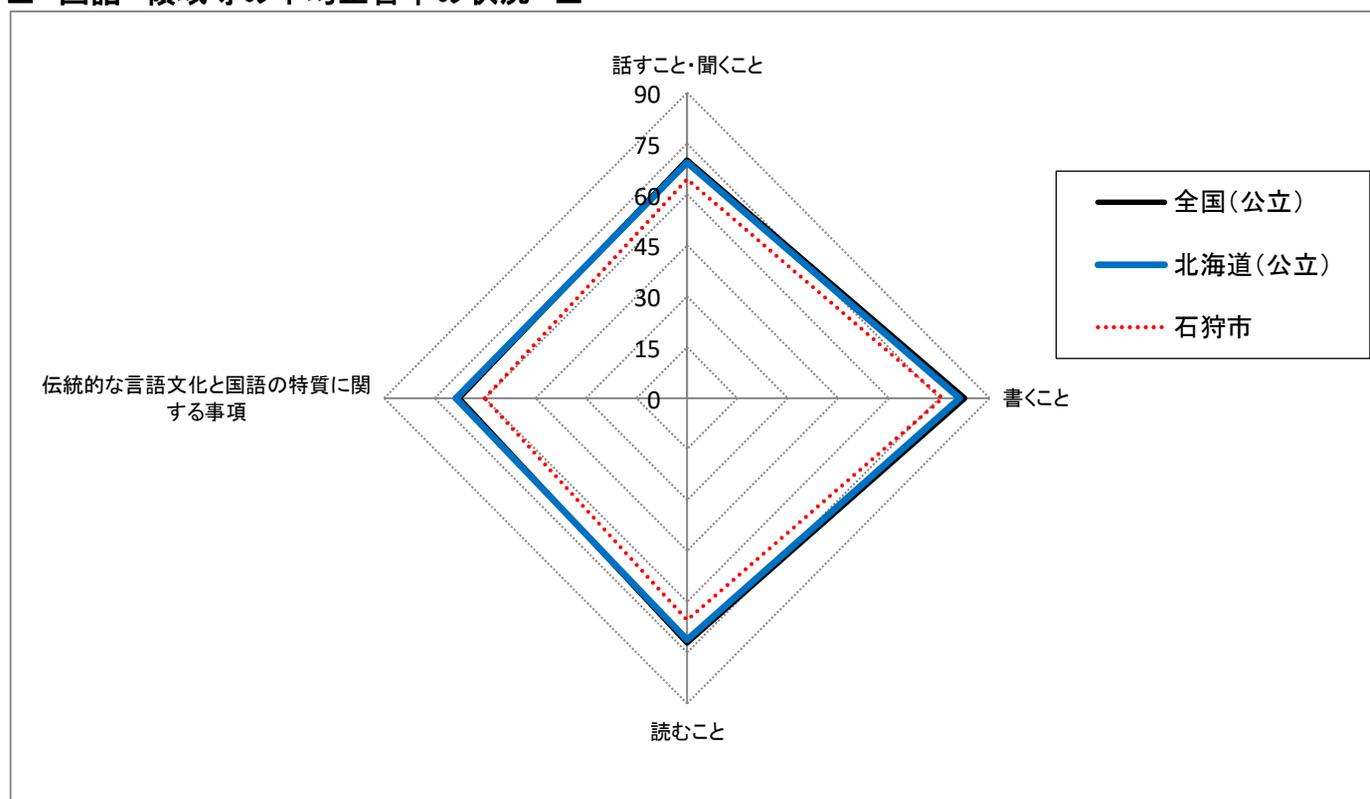
□ 正答率の状況 □

	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	7.3問/10問	72.8%
全道(公立)	7.2問/10問	72.1%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○					☆			○	
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 国語科の概要 □

- ◇国語の正答率は全道・全国より低い結果となりました。昨年度との比較では、出題形式が変更され、また、問題数が10問と大幅に少なくなったことから一概には判断できませんが、昨年の国語ABの平均正答率と比較すると全国との差は僅かに広がりました。
- ◇領域別では、「話すこと・聞くこと」は全道よりもやや低く、全国より低い結果となりました。また、「書くこと」「読むこと」は全道・全国より低く、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全道・全国より相当低い結果でした。
- ◇問題形式別の正答率では、「選択式」は全道・全国より低く、「短答式」は全道・全国より相当低く、「記述式」は全道より低く、全国より相当低い結果となりました。

国語

○調査問題の内容

学習指導要領に示されている「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に基づいて、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。

(例)

- ・「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く。
- ・話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていること」について自分の考えを書く。
- ・広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える。
- ・語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する。
- ・問題数は10問です。

【各領域の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ	読むこと	82.7%	89.4%	91.2%
2一	話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	話すこと 聞くこと	77.3%	80.6%	80.4%
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する	書くこと	83.5%	86.5%	87.4%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	49.5%	56.9%	56.8%
2三	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	話すこと 聞くこと	52.2%	57.9%	60.4%

【指導の改善にあたって】

【問題番号1四 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

手紙の基本的な形式に基づき、文字の大きさや配列に注意するなどして丁寧に読みやすく書くように指導することは、社会生活に役立つ書写の能力を育むために重要です。その際、相手の名前を他の文字よりも大きく書くことなど、手紙の形式に込められた相手への敬意について考えさせることも大切です。また、日常生活においても、意識的に書写の学習の成果を生かすよう指導することが必要です。

【問題番号2三 話すこと・聞くこと】

話合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えを持ちながら参加するように指導することが大切です。その際、必要に応じて話合いの話題について確認したり、話合いの経過を捉えたりすることができるように指導することも重要です。例えば、小学校での学習を踏まえ、司会の進め方や話合いの記録の仕方などを確認した上で、実際に記録を取りながら話合いを行うなどの学習が考えられます。

【教科（国語）に関する意識（質問紙の傾向）】

- ・「国語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の65.0%、全国の61.7% に対して石狩市は、71.3%で全道より6.3ポイント、全国より9.6ポイント高くなっています。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の90.5%、全国の91.0% に対して石狩市は93.1% で、全道より2.6ポイント、全国より2.1ポイント高くなっています。
- ・「国語の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の79.9%、全国の77.6% に対して石狩市は79.1% と、全道より0.8ポイント低く、全国より1.5ポイント高くなっています。
- ・「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」についての肯定的な回答は、全道の74.9%、全国の77.4% に対して石狩市は72.4% で、全道より2.5ポイント、全国より5.0ポイント低くなっています。
- ・「国語の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」についての肯定的な回答は、全道の69.8%、全国の71.6% に対して石狩市は72.2% で、全道より2.4ポイント高く、全国より0.6ポイント高くなっています。
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の87.9%、全国の88.0% に対して石狩市は90.6% で、全道より2.7ポイント、全国より2.6ポイント高くなっています。
- ・「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか」についての肯定的な回答は、全道の63.2%、全国の64.4% に対して石狩市は59.6% と、全道より3.6ポイント、全国より4.8ポイント低くなっています。
- ・「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の77.8%、全国の79.8% に対して石狩市は70.4% と、全道より7.4ポイント、全国より9.4ポイント低くなっています。

平成31(令和元)年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 数学】

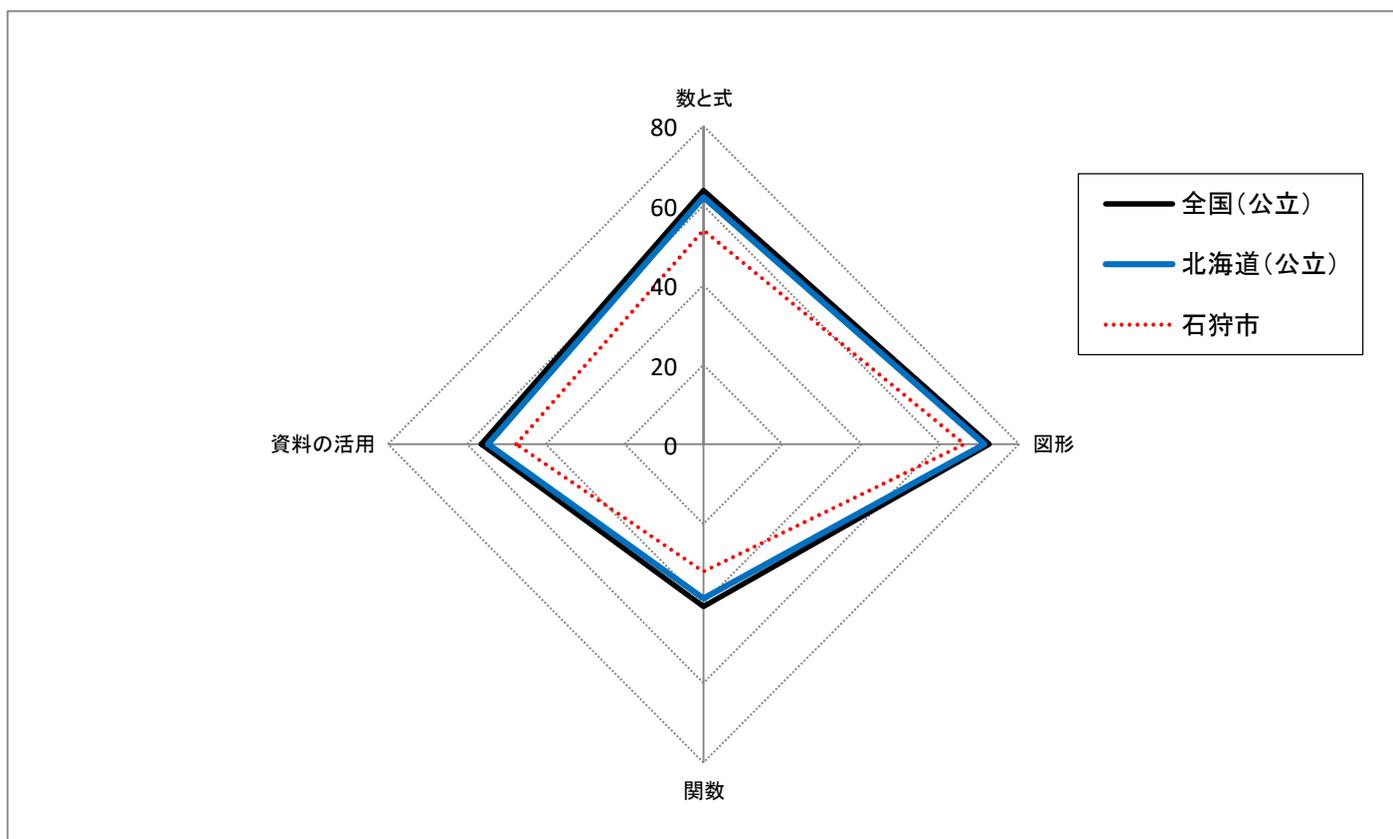
□ 正答率の状況 □

	数学	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	9.6問/16問	59.8%
全道(公立)	9.3問/16問	58.1%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				☆				○	
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 数学 領域等の平均正答率の状況 □



□ 数学科の概要 □

- ◇数学の平均正答率は、全道より低く、全国より相当低い結果でした。昨年度との比較では、出題形式が変更され、また、問題数が16問と大幅に少なくなったことから一概には判断できませんが、昨年度の数学ABの平均正答率と比較すると全国との差は僅かに広がりました。
- ◇領域別では「数と式」と「資料の活用」は全道・全国より相当低く、「図形」は全道・全国より低く、「関数」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。
- ◇問題形式別では「選択式」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。「短答式」と「記述式」は全道・全国より相当低い結果でした。

数学

○調査問題の内容

学習指導要領における、「数と式」, 「図形」, 「関数」, 「資料の活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。

(例)

- ・ aとbが正の整数のとき, 四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ。
- ・ 連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する。
- ・ 証明で用いられている三角形の合同条件を書く。
- ・ 四角形ABCDがどのような四角形であれば, $AF = CE$ になるかを説明する。
- ・ 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて, 式やグラフを用いて, 2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する。
- ・ 問題数は16問です。

【各領域の傾向】

- ・ 「数と式」の領域は, 全道・全国より相当低い傾向を示しています。
- ・ 「図形」の領域は, 全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・ 「関数」の領域は, 全道より低く, 全国より相当低い傾向を示しています。
- ・ 「資料の活用」の領域は, 全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
3	$\triangle ABC$ を, 矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき, 移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	図形	77.6%	81.7%	83.6%
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	図形	72.5%	76.0%	75.8%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から, x と y の関係を式で表すことができる	関数	33.9%	46.0%	48.9%
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて, 式やグラフを用いて, 2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し, 問題解決の方法を数学的に説明することができる	関数	23.9%	33.1%	34.7%
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	数と式	45.8%	55.2%	59.7%

【無解答率の高い問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を, ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え, 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	資料の活用	32.3%	40.8%	41.0%	25.2%	40.8%	21.3%

【指導の改善にあたって】

【問題番号4 関数】

表、式を関連付ける活動を取り入れ、反比例における比例定数や対応の特徴を捉え、 x と y の関係を式で表すことができるように指導することが大切です。例えば、反比例の表を用いて x の値とそれに対応する y の値の積が常に一定の値となり、その値が比例定数であることを確認するなど、表から式を求めることができるように指導することが大切です。

【問題番号6(2) 関数】

様々な問題を数学を活用し解決できるようにするために、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるように指導することが大切です。例えば、「連立方程式をつくり、それを解いて値を求める」ことや「2つのグラフの交点の x 座標を読み取る」などと説明する場面を設定することが考えられます。

【問題番号9(2) 数と式】

事柄が一般的に成り立つ理由を、文字や言葉を用いて根拠を明らかにして説明できるように指導することが必要です。例えば、連続する5つの奇数を表した式を $5 \times$ (中央の奇数)の形にすればよいという見通しをもって、変形する場面を設定することが大切です。

【問題番号8(2) 資料の活用】

代表値を求めたデータの分布の様子を読み取ったりする場面を設定し、その傾向を捉えて、批判的に考察し判断できるように指導することが大切です。ここで、批判的に考察することは、物事を単に否定するのではなく、多面的に吟味し、よりよい解決や結論を見いだすために必要です。例えば、平均値が代表値としてふさわしいかどうかをデータの分布の様子から検討し、判断する場面を設定することが考えられます。

【教科(数学)に関する意識(質問紙の傾向)】

- ・「数学の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の55.0%、全国の57.9%に対して石狩市は、54.6%で全道より0.4ポイント、全国より3.3ポイント低くなっています。
- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の82.9%、全国の84.2%に対して石狩市は84.0%で、全道より1.1ポイント高く、全国より0.2ポイント低くなっています。
- ・「数学の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の71.3%、全国の73.9%に対して石狩市は69.3%と、全道より2.0ポイント、全国より4.6ポイント低くなっています。
- ・「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の74.5%、全国の76.2%に対して石狩市は75.5%で、全道より1.0ポイント高く、全国より0.7ポイント低くなっています。
- ・「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の55.6%、全国の60.8%に対して石狩市は51.3%と、全道より4.3ポイント、全国より9.5ポイント低くなっています。

平成31(令和元)年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 英語】

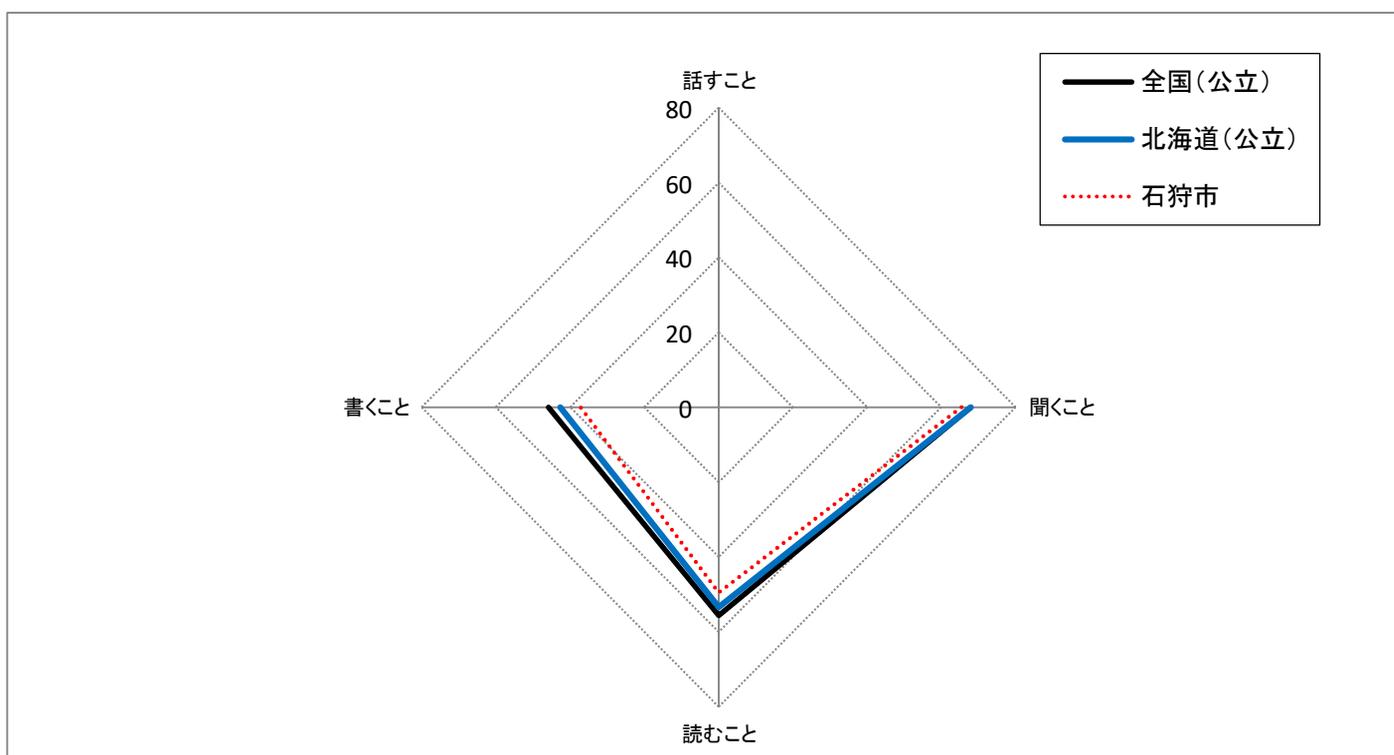
□ 正答率の状況 □

	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	11.8問/21問	56.0%
全道(公立)	11.4問/21問	54.2%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				★			○		
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 英語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 英語科の概要 □

- ◇英語の正答率は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。
- ◇領域別では「聞くこと」は全道・全国と同様(下位)で、「読むこと」は全道よりやや低く、全国より低く、「書くこと」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。尚、「話すこと」の結果は公表していません。
- ◇問題形式別では「選択式」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。「短答式」は全道より低く、全国より相当低く、「記述式」は全道・全国と同様(下位)の結果でした。

英語

○調査問題の内容

<p>学習指導要領に示されている4領域（「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」）に基づいてその目標や内容を踏まえ言語材料や言語活動をバランスよく出題しています。</p> <p>(例)</p> <p>■外国語理解の能力 ・概要や要点を聞き取る力【聞くこと】 ・自分が考えたことや感じたことを、その理由を交えて書くことができるよう必要な情報を読み取る力【読むこと】</p> <p>■外国語表現の能力 ・文のつながりなどに注意して書く力【書くこと】 ・問答したり意見を述べたりする力【話すこと】</p> <p>■問題数は21問です。</p>

【各領域の傾向】

- ・「聞くこと」は全道・全国と同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「話すこと」は結果を公表しておりません。
- ・「読むこと」は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」は、全道より低く、全国より相当低い結果でした。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	聞くこと	85.7%	87.7%	88.6%
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	読むこと	73.5%	75.9%	79.4%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題についての自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	読むこと	7.5%	9.4%	10.9%
10	学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	書くこと	0.7%	1.4%	1.8%

【無答率の高い問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	聞くこと	5.9%	53.6%	6.7%	44.9%	7.6%	42.3%

【指導の改善にあたって】

【問題番号8 読むこと】

読んだことについて、自分の考えを述べる際には、単に内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していくことが大切です。例えば、説明文を読み、書き手の主張をまとめる。次に、ペアやグループで尋ねあったり、伝え合ったりする。さらに、活動の合間に、自分の使った英語を振り返り、表現の正確さを高める。最後に、ペアやグループで伝え合ったことを、自分の意見として簡潔に書いてまとめる学習方法が考えられます。

【問題番号10 書くこと】

与えられたテーマについてまとまりのある文章を書く際には、まずテーマについての自分の考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるかを考えながら書き表す必要があります。そのためには、①「話して書く」「読んで書く」等の領域を統合した指導を行う。②英文を読み合い、よりよく読み手に伝わるように書く指導を行う。③書くことを増やすための指導を行う。④I, You以外の三人称 (He, She, It, There等)の主語を用いて客観的に事実を伝える力を養う指導が考えられます。

【問題番号4 聞くこと】

「聞くこと」の指導にあたっては、「聞くこと」が目的をもって行う能動的な活動であることを念頭に置き、ただ聞いて理解するだけの活動にしないことが大切です。そのためには、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させることが重要です。また、日頃から英語でのやり取りする中で、実際に聞いて応じる活動を積み重ね、体験的に身に付けさせていくことも必要です。

【教科（英語）に関する意識（質問紙の傾向）】

- ・「英語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の54.6%、全国の 56.0% に対して石狩市は52.5%で全道より2.1ポイント、全国より3.5ポイント低くなっています。
- ・「英語の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の81.8%、全国の 85.4% に対して石狩市は81.8%で全道と同様で、全国より 3.6ポイント低くなっています。
- ・「英語の授業はよくわかりますか」についての肯定的な回答は、全道の64.6%、全国の66.0% に対して石狩市は61.4%で全道より3.2ポイント低く、全国より4.6ポイント低くなっています。
- ・「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の82.1%、全国の85.4% に対して石狩市は81.8% で、全道より0.3ポイント、全国より3.6ポイント低くなっています。
- ・「あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか」についての肯定的な回答は、全道の30.6%、全国の33.8% に対して石狩市は34.8%で、全道より4.2ポイント、全国より1.0ポイント高くなっています。
- ・「あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の35.9%、全国の41.3% に対して石狩市は37.5% で、全道より1.6ポイント高く、全国より3.8ポイント低くなっています。